



# 寺島しのぶ 常盤 貴子

落井 実結子(子役)  
安達 祐実  
渡辺 いっけい  
東 ちづる  
宅麻 伸  
春風亭 昇太  
辰巳 琢郎  
渡辺 梓  
窪塚 俊介  
山田 邦子  
小倉 蒼蛙(一朗)  
堀内 正美  
松木 路子  
磯村 みどり

高島 礼子  
船越 英一郎

両親は知的障がい者  
貧しくとも  
こんなに豊かな家族の物語

私のかあさんは、知的障がい者でしたが、  
私にとって最高の母でした

# わたしのかあさん

監督・ゼネラルプロデューサー  
山田火砂子  
プロデューサー  
上野有

# - 天使の詩 -



宅麻伸

小倉蒼蛙(一朗)

辰巳琢郎

東ちづる

渡辺梓



## 映画『わたしのかあさん - 天使の詩 -』にかける想い

私の知的障がいの長女が通った大塚養護学校で長年お世話になった菊地澄子先生の書かれた『わたしのかあさん』を映画化しました。

知的障がい者の両親の長女として高子は生まれました。秀才だった高子が小学三年生になって両親の障がいに気がつき荒れるところからドラマは始まります。しかし、周りの人々の感化によって「障がいを持っていたのが自分だったかもしれない」と言う事に気がつき、だんだん心を取り戻していくのです。

優秀ならIT企業などで働けば金銭的には楽だったかもしれないのに、後年、高子は福祉の道に進みます。糸賀一雄先生、田村一二先生、池田太郎先生方の影響を受けましたが、最も影響を与えたのは、無垢な心の母親です。悪は善

に負けるがテーマです。母の悪口ばかり言っていた近所の人達も、だんだん仲良くなって、子供を預けるなど、母を信頼していきます。周囲の人々の心を変えていく母の姿を見た高子は福祉の道に生きる決心をします。

障がいの両親役に、寺島しのぶ、渡辺いっけい、友人の父親に船越英一郎、先生役に東ちづる、糸賀一雄先生役に宅麻伸、そして成長した高子を常盤貴子、その親友に安達祐実、ほかたくさんの方の演技派の俳優さんが参加して豪華メンバーのすばらしい映画となりました。福祉映画もここまで来たかと感動しています。

幸せとは何か、貧しくとも豊かな家庭とは、泣き笑いのあるこの映画をぜひお楽しみください。

監督 山田 火砂子

上映会のお知らせ 各回山田火砂子監督舞台挨拶を予定(開演後、本編上映前)

2024 開場は各回30分前(予定)・1回につき~2時間30分程(ご挨拶と映画本編110分ほど)・☎は字幕付上映

6/22(土) 岡崎市せきれいホール 《開演時間》 ①10:30 ②14:00

後援: 岡崎市 名鉄「東岡崎」駅から徒歩約20分、バス「岡崎市役所」停から徒歩約4分 前売券販売 現代ぶろだくしょん(03-5332-3991)

6/23(日) 名古屋市北文化小劇場 《開演時間》 ①10:30 ②13:45

地下鉄名城線「黒川」駅4番出口より北へ徒歩12分、市バス「北図書館」停から徒歩3分 前売券販売 名古屋市北文化小劇場(052-910-3366)

※製作協力券にても入場可。 ●前売券 一般:1,300円 ●当日券 一般:1,800円 チラシ割引 当日一般:1,500円/小学生:800円 ※本チラシご持参で5名様まで有効

お問い合わせ 悪い映画を観る会 070-8933-5703 現代ぶろだくしょん 03-5332-3991 (平日10時~18時) e-mail:gendaipro@gendaipro.jp